

土佐派絵画資料目録(八)

画帖(二)

- 1・本目録は本館所蔵の「土佐派絵画資料」（収蔵番号：三〇〇一）のうち粉本の一部を収録するものである。収録の対象としたのは画帖の一部であり、花卉の写生図を含む資料を選んだ。昭和28年に作成された「土佐家粉本目録」（旧目録）の整理番号を本目録に示しておいた。
- 2・目録は解説、目録本編、索引から構成されており、収録資料には全て通番を打ち目録番号を与えた。
- 3・目録本編は図版とデータを併せて収録し、画帖の図版には紙数と表裏の別を付している。データ記載は目録番号、品名、頁数、旧目録番号を示した後、材質、法量（台紙の縦×横、単位はセンチメートル。）年、作者、備考、墨書の順に配列している。ただし、「1花卉画帖」については以下のように記載している。
 - (a)画帖を解体して、画帖の形態時に外側にあたる台紙から内側の台紙に向かって紙番号を与え、画帖形態時の旧頁数と旧頁内での通番号を組み合わせて紙片番号としている。紙番号は2桁の番号と表裏の組み合わせで表示し、紙片番号は3桁の旧頁番号と1桁の通番号で表示し通番号の「0」は台紙を示している。
 - (b)各紙面ごとに紙片の貼り込み状況を示す略図を付し、台紙への図・墨書と、貼り込まれた紙片番号を確認できるようにした。紙面の一部を欠くものについては、原形の綴じ位置が現状と異なる場合がある。この場合写真の現状に従って掲載し、貼り込み状況を示す略図には原形と思われる位置に復元（表裏上下は現状を尊重している。）として表示した。
 - (c)画帖を構成する各紙面ごとに、紙番号、法量（台紙の縦×横、単位はセンチメートル。）、備考（台紙全体に関するもの。）を示す。頁単位で、貼り込まれた紙片ごとに、紙片番号、材質、墨書、備考（各紙片のみに関わるもの。）を示し、旧頁内のデータの末尾に印章、備考（旧頁内に関するもの。）を示している。割印となる印章については印のかかる紙の区別を紙片番号の一部を以て示している。また備考においては、紙番号と紙片番号を連続して、略号の代わりとし、現状における他頁との紙片・画面の連続関係を示した。データの無い項目は省略している。
 - (d)画帖の旧状を理解しやすくするために、旧頁数に従った画帖旧状図を付して、解体前を再現した。
- 4・墨書の表記について、（不読）はかすれによって判読できなかったもの、△は完全に塗りつぶされた文字をあらわしている。またスミケシされた文字はその該当部分の後ろに△スミケシ△と示している。これ以外に墨書の後ろに△△によって示した文字は、直前の文字または語句の、右もしくは左に傍注されたものである。「1花卉画帖」の墨書において使用した△▲は、他の紙片・画面と墨書が連続するものに付与した記号で、分断された墨書を読む場合の手掛かりとした。
- 5・索引については、墨書と印章の内容と判明する限りの画題を取り上げた。動植物名については基本的に北地直子氏の同定に従っており、同じ科に分類される動植物については、種名の同定がされないものを前に、されたものを後に記している。各見出し語には項目に応じて分類記号を付け利用の便を図った。〈鳥〉は禽鳥名を、〈植〉は植物名を、〈虫〉は虫類名を、〈人〉は人名を、〈地〉は地名を、〈印〉は印影を、〈墨〉は画中の墨書名を示している。索引に示す数字は、資料番号―紙数（オは表、ウは裏を指す）を基本としているが、「1花卉画帖」についてののみ（）中に紙片番号を示した。ただし、〈印〉に分類されたものについては旧頁番号のみを示している。
- 6・資料の配列は利用の便を考慮しているが、特に一貫した方針を持つものではない。
- 7・本目録に収録した資料は、撮影（白黒）、補修とも全て終了している。
- 8・目録の編集は次の者が担当した。

榊原吉郎（本学教授）

大須賀潔（本館学芸員）

松尾芳樹（本館学芸員）

北地直子（JT生命誌研究館コミュニケーション・スタッフ）

目次

一八世紀の写生観……………榊原吉郎 4

画帖(二) 目録……………10

- 1 花卉画帖 一帖(六十九紙) (四三九―一)
- 2 豌豆図 一枚(四三九―二)
- 3 豌豆図 一枚(四三九―三)
- 4 花卉写生図巻 一卷(三十二紙) (二二二)
- 5 花卉写生図巻 一卷(五十二紙) (二二四)
- 6 花卉写生帖 一帖(十三紙) (四〇三)
- 7 花卉写生帖 一帖(十五紙) (四〇七―一)
- 8 木瓜図 一枚 (四〇七―二)
- 9 蓮花図 一枚 (四〇七―三)
- 10 黄蜀葵図 一枚 (四〇七―四)

「花卉画帖」に貼り込まれた……………松尾芳樹 173

慶長一八年以前の粉本について……………181

土佐派画帖に描かれた動植物の種名の同定……………北地直子 181

索引……………192